

現役引退しても
九州でアイスホッケーへの
情熱を灯しつづけたい！

九州の星
Star of Kyushu

| 81 |

頑張るあなたを
応援するコーナーです



令和4年度国民体育大会 九州ブロックアイスホッケー審判委員長



銀行員とアイスホッケー審判の二刀流

幼少期からフィギュアスケートの教室に通い銀盤に慣れ親しんだ川崎誠也さん。福岡大学在学中にアイスホッケーと出会い、そのカッコよさに憧れ、迷わずアイスホッケー部に入部しました。

以来約20年、現役選手として活躍したのち、35歳を区切りに現役を引退しました。競技においてはまだ限界を感じていなかったものの、当時の勤務地だった鹿児島に練習会場がなく、練習のために毎週福岡との往復の移動に疲弊してしまっていたそうです。

競技生活にピリオドをうつたわけですが、アイスホッケーへの情熱は何年たつても冷めやらず、この温暖な九州で競技審

判というかたちで引き続きアイスホッケーにかかわっていくことを決意しました。

審判転向後10年を経過した令和4年度国体の九州ブロック大会では審判委員長を務め、九州各県の選抜チーム同士の熱い戦いを主審としてジャッジしています。

「アイスホッケーの魅力を九州でもより多くの方々に感じてもらいたい」と話す川崎さん。

年々アイススケート場が減少し、練習場の確保すら難しい問題に直面しています。それでもパックの奪い合いで選手同士が壁にぶつかる音や振動、銀盤をスティックで叩いてパスを呼ぶ音、華麗なターンやパス回しで相手ディフェンスを翻弄する姿を見てほしい。

これから多くの方が試合を観戦し、自分もやりたいと思う子どもたちが増えることを願いつつ、川崎さんは今日もホイスルを吹きます。

川崎 誠也

KAWASAKI SEIYA

Age45

熊本銀行久留米支店副支店長



▲勤務中の川崎さん